

住友理工、「第75回全国産業安全衛生大会2016」に参加 ～生活習慣病予防のための減量プログラムをテーマに発表～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 社長兼 COO：松井徹）は仙台市内で10月19日（水）～21日（金）に開催された「第75回全国産業安全衛生大会2016」に参加しましたので、お知らせいたします。

全国産業安全衛生大会は、労働災害の増加傾向に歯止めをかけ、労働災害のない職場づくりに向けて決起する場と位置づけられ、国内企業の安全衛生や社員の健康促進に携わる担当者が参加する国内最大規模の大会です。



当社の取り組みについて報告する
佐藤保健師

このたび、ヘルスケア室の佐藤恵保健師が、「生活習慣病予防を目的としたグループ内『見られる化』減量プログラムの実践報告」について研究発表を行いました。生産性向上につながる「従業員の健康管理」は、近年「健康経営」として、企業の経営指標の一部として捉えられる重要な課題となっています。特に「生活習慣病」は、若年期から意識を高め予防することが大切です。今回、グループで行った減量プログラム「住友理工スマートクラブ（SSC）」の内容、導入効果を紹介しました。

「住友理工スマートクラブ（SSC）」について

SSCは、40歳未満の男性で、BMIが25以上の「痩せたい」という希望のある従業員を対象に実施。実施期間3ヶ月間で体重3%減少を目標としています。メンバーは週に1回、体組成計で体重や体脂肪率、腹囲などを測定。月に1回は集まり、それぞれの項目を見えるようにグラフとして貼り出すことで、メンバーに「他の参加者ががんばっているから自分も負けられない」という意識が生じ、モチベーションを維持することができます。

これまでに3期18名が参加し、1人あたり平均4.3cmの腹囲減少、平均3.7kgの体重減少（平均体重減少率4.5%）という結果が出ています。

※16名（89%）が腹囲減少、17名（94%）が体重減少、13名（72%）が目標達成。

当社は今後も、従業員が健康的に働くことができるよう、健康増進活動を推進していきます。
以上